

# 体験王国 いばらき

▶ 茨城DC記念特別商品 ◀

## 「<sup>の</sup>ぐい呑みセット」・「<sup>かたぐち</sup>片ロセット」・「<sup>かよ</sup><sup>どっくり</sup>通い徳利セット」

～ 茨城の魅力と匠の技を可視化するプロジェクト～

江戸時代に日常的に酒が飲まれるようになると、酒屋が小売り用に貸し出した徳利を腰に下げて酒屋に通う「通い徳利」という仕組みが生まれました。しかし、大量生産・消費の時代になると、いつしか通い徳利は消えてしまいました。

このような生産者と消費者をつなぐ懐かしい「通いのしかけ」を現代にマッチする形に蘇らせ、多様な新しい酒文化の発信を試みる「筑波里山通い徳利研究会」が生まれました。

当研究会では、茨城デスティネーションキャンペーンを契機に、“茨城の魅力を形にし、全国に発信したい”という強い思いから、茨城が誇る地酒と、笠間焼をはじめとする自慢の工芸品を掛け合わせた **3種類**の「これぞ茨城の逸品」を発売します。

ぜひ、貴社媒体にてご案内いただけますようお願い申し上げます。

### 茨城DC記念特別商品 ラインナップ

A	B	C
筑波地酒と茨城ぐい呑みセット	筑波地酒と笠間片ロセット	筑波里山 通い徳利セット
		
51,700円(税込)	24,200円(税込)	24,200円(税込)
2023年茨城DC特別記念		2022年茨城プレDC特別記念

※いずれの商品も納期は1ヶ月程かかります。  
※器等は手工芸品のため、初回は5個限定販売とし、順次、ロット制作・販売を実施いたします。

#### 【本資料に関するお問い合わせ先】

○企画・開発に関すること

筑波里山通い徳利研究会事務局：蓮見 電話：090-2532-6591 メール：[kayoidokkuri@gmail.com](mailto:kayoidokkuri@gmail.com)

○購入のお申し込み、製造・販売に関すること

(有)リカーショップスドウ：須藤 電話：029-(836)-0079 メール：[sudo\\_toshiaki@hotmail.com](mailto:sudo_toshiaki@hotmail.com)

## 【協力事業所のご紹介】

### ■浦里酒造店(つくば市)

1877年創業、茨城県つくば市にて日本酒【霧筑波・知可良・浦里】を製造販売。酒質は淡麗辛口、地元に根差した酒を造り続ける。

### ■稲葉酒造(つくば市)

筑波山の麓に居を構えて十六代。6代前の慶応三年より恵まれた米と敷地内の湧水を利用して男女川の酒造りが始まる。小倉百人一首にも歌われた、女体山と男体山の間を流れる沢の名を拝したこの酒は、創業以来、筑波山神社の御神酒として親しまれる。

### ■楽只窯／茨城県立笠間陶芸大学校(笠間市)

根本達志(楽只窯)は茨城県立笠間陶芸大学校専任講師。2017年、笠間焼伝統工芸士に認定。

茨城県立笠間陶芸大学校は、1950年試験研究機関「茨城県窯業指導所」からスタートし、2016年開校。

### ■大子漆八溝塗 器而庵(大子町)

国産漆はわずか5%、そのうちの15%が茨城県北部を中心とする大子漆。漆掻き職人の高齢化、後継者不在を目の当たりにした言いようのない危機感から、2008年から漆掻きを開始。最高品質を誇る大子漆を100年先の未来に伝えるため、2010年6月に「器而庵(きじあん)」という漆器ブランドが誕生。

※2008、2010、2011、2013、2016、いばらきデザインセレクション選定

### ■カガミクリスタル株式会社(龍ヶ崎市)

1934年、日本初のクリスタルガラス専門工場として、各務鑛三によって創立。1937年パリ万国博覧会名誉賞受賞に始まり、ニューヨーク万国博覧会名誉賞受賞、ブラッセル万国博覧会 グランプリ受賞など、数々の栄誉に輝く。

※2021、いばらきデザインセレクション選定

### ■「常陸錫器」澤幡製作所(東海村)

1973年、茨城県東海村において澤幡弘道が鑄造業を始める。2021年より地元デザイナーの協力を得て、長年の鑄造事業で培った職人の匠の技をいかし、茨城の自然豊かな風土をデザインに落とし込んだ錫器ブランド「常陸錫器」を立ち上げた。

※2021、いばらきデザインセレクション選定

### ■いばらき観光キャンペーン推進協議会(事務局:茨城県営業戦略部観光物産課)

2022年度/2023年度 新観光プロジェクト応援事業協賛

## 【実施主体事業者の紹介】

### ■(有)リカーショップスドウ

昭和11年創業。「地酒専門店 スドウ酒店」をはじめ、県内に「地酒本舗 美酒堂」5店舗を展開。令和4年開店の「いばらき地酒バー水戸」の運営を担う。代表の須藤利明は筑波里山通り德利研究会メンバーでもあり、本プロジェクトの製造・販売も行う。

### ■筑波里山通り德利研究会

2021年、つくば市内の酒蔵や酒販店、陶芸関係者、観光事業者など有志による「筑波里山通り德利研究会」が発足。消滅した「通り德利」を現代にマッチした形の新しい酒文化として発信するべく、酒文化の各分野の事業者が集い研究会を重ね、2022年「通り德利セット」を企画・開発。

<事務局メンバー> 蓮見孝、須藤利明、岸本健

A

# 「筑波地酒と茨城ぐい呑みセット」

【2023年茨城DC記念特別企画商品】



<p>商品内容</p>	<p>○ 「筑波地酒と茨城ぐい呑みセット」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・筑波地酒(2本セット(各 500ml))</li> <li>「霧筑波 純米大吟醸」 浦里酒造店(つくば市)</li> <li>「すてら 純米大吟醸」 稲葉酒造(つくば市)</li> <li>・茨城のぐい呑み(4口セット)</li> <li>① 陶器「ぐい呑み」 楽只窯/茨城県立笠間陶芸大学校(笠間市)</li> <li>② 漆器「ぐい呑み」 大子漆八溝塗 器而庵(大子町)</li> <li>③ ガラス器「江戸切子・冷酒杯&lt;魚子流し紋&gt;」 カガミクリスタル株式会社(龍ヶ崎市)</li> <li>④ 錫器「お猪口 凧(Nagi)」 「常陸錫器」澤幡製作所(東海村)</li> <li>・桐箱(w 280mm×D 310mm×H 110mm)入り(茨城DCロゴマーク入り)</li> </ul>
<p>販売価格</p>	<p>51,700円(税込)</p>
<p>製造・販売</p>	<p>(有)リカーショップスドウ 茨城県つくば市谷田部 2985-2 電話 029-(836)-0079</p>
<p>商品説明</p>	<p>筑波山を仰ぐつくば市内の2酒蔵(「浦里酒造店」、「稲葉酒造」)の銘酒と、茨城県内の工芸工房が制作した逸品の器を合わせた特別セットです。</p> <p>器は、陶器(笠間市)、漆(大子町)、ガラス(龍ヶ崎市)、鋳物(東海村)の4種が集いました。逸品の器で、茨城の酒の滋味をじっくりとお楽しみください。</p>

**B**

## 「筑波地酒と笠間片ロセット」

【2023年茨城DC記念特別企画商品】



<b>商品内容</b>	<p>○「筑波地酒と笠間焼の片ロ・ぐい呑みセット」</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・筑波地酒(2本セット(各 500ml)) 「霧筑波 純米大吟醸」 浦里酒造店(つくば市) 「すてら 純米大吟醸」 稲葉酒造(つくば市)</li><li>・笠間焼の片ロとぐい呑み2点のセット(1組) 陶器「片ロ・ぐい呑み」 楽只窯/茨城県立笠間陶芸大学校(笠間市)</li><li>・桐箱(w 280mm×D 310mm×H 110mm)入り(茨城DCロゴマーク入り)</li></ul>
<b>販売価格</b>	<b>24,200円(税込)</b>
<b>製造・販売</b>	<p>(有)リカーショップスドウ 茨城県つくば市谷田部 2985-2 電話 029-(836)-0079</p>
<b>商品説明</b>	<p>筑波山を仰ぐつくば市内の2酒蔵(「浦里酒造店」、「稲葉酒造」)の銘酒と、器は、最近開発された地元の釉薬である笠間長石を用いて、陶芸窯「楽只窯」で一品制作されました。 茨城の酒と器をぜひご堪能ください。</p>



## 「筑波里山 通い徳利セット」

【2022年茨城プレDC記念特別企画商品】



商品内容	<p>○「筑波地酒と笠間焼の徳利・ぐい呑みセット」</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・笠間焼の徳利とぐい呑みのセット(1組) 陶器「通い徳利・ぐい呑み」楽只窯／茨城県立笠間陶芸大学校(笠間市)</li><li>・筑波地酒(①②いずれか1本(720ml)を選択)<ul style="list-style-type: none"><li>①「霧筑波 純米大吟醸」浦里酒造店(つくば市)</li><li>②「すてら 純米大吟醸」稲葉酒造(つくば市)</li></ul></li><li>・桐箱(w 245mm×D 340mm×H 130mm)入り(茨城DCロゴマーク入り)</li></ul>
販売価格	24,200円(税込)
製造・販売	(有)リカーショップスドウ 茨城県つくば市谷田部 2985-2 電話 029-(836)-0079
商品説明	<p>SDGs など環境負荷の軽減が求められる中で、使い捨ての瓶ではなく、永く愛用できる通い徳利の普及を図ろうと、茨城県南のつくば市の酒蔵と県央の県立笠間陶芸大学校が連携して、酒と器をセットにした「筑波里山通い徳利」を生み出しました。</p> <p>酒蔵は、つくば市の「浦里酒造店」と「稲葉酒造」。徳利は、最近開発された地元の釉薬である笠間長石を用いて、陶芸窯「楽只窯」で一品制作されました。通い徳利で、茨城の酒の滋味をお楽しみください。</p>